

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	「子ども・子育て支援事業計画」等の着実な推進	個別事業 掲載No	子 — 1
-----	------------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>「子ども・子育て支援事業計画」に基づく三鷹市における子ども・子育て関連施策について、「子ども・子育て会議」で目標事業量の達成状況を公表・評価・検証し、会議での委員からの意見を踏まえながら、PDCAサイクルを充実させた着実な推進を図る。</p> <p>また、令和元(2019)年度の「子ども・子育て支援事業計画」の改定に向けて子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査を実施する。</p> <p>さらに、制定10周年を迎える「三鷹子ども憲章」について、一層の周知を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て会議の開催(年4回) ・計画の進行管理 ・事業の評価・検証 目標事業量の達成状況の公表 ・子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査の実施 「三鷹子ども憲章」啓発カードの作成・配布及び関連イベントの実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標	<p>○第1回会議 ○第2回会議 ○第3回会議 ○第4回会議</p> <p>○目標事業量の達成状況の公表</p> <p>○子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査の実施</p> <p>○「三鷹子ども憲章」啓発カードの作成・配布及び関連イベントの実施</p> <p>子ども・子育て会議による事業の進行管理 ・評価・検証及び目標事業量の達成状況の公表</p> <p>子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査の実施 ・三鷹子ども憲章の一層の周知</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>「子ども・子育て会議」を2回開催(5月・7月)し、平成29年度及び平成30年度の子ども・子育て支援施策主要事業について報告、評価・検証し、達成状況の公表を行った。</p> <p>子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査については、調査項目等に関して「子ども・子育て会議」に諮るとともに、健康福祉部及び教育委員会とも連携を図りながら丁寧に検討を行った。また、健康福祉審議会にも両調査の実施について報告を行った。</p> <p>子ども憲章10周年については関連イベントの実施及び啓発カードの作成について準備を進めた。</p>											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等	<p>計画改定にあたっては事業費を精査し、職員による内容の検討を充実すること。</p>										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・子育て会議の開催(年4回) ・計画の進行管理 ・事業の評価・検証 ・目標事業量の達成状況の公表 子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査の実施 ・「三鷹子ども憲章」啓発カードの作成・配布及び関連イベントの実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標の達成状況	<p>「子ども・子育て会議」に諮りながら、子ども・子育て支援事業計画の進行管理、計画に基づく事業の評価・検証を行うとともに、計画の目標事業量の達成状況についての公表を行った。</p> <p>子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査については、学校とも連携し回収率の向上に努めた。</p> <p>子ども憲章10周年については関連イベントの実施及び啓発カードの作成を行った。</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>「子ども・子育て会議」の場において、子ども・子育て支援事業計画の進捗管理、目標事業量の達成状況の確認、事業の評価・検証等を確実に実行し、PDCAサイクルを回しながら、子ども・子育て支援施策の更なる推進を図った。</p> <p>子育て支援ニーズ調査、子育てに関する生活実態調査については、小中学校の全面的な協力を得ることで高い回収率を確保し、今後の「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた基礎資料となる有用なデータを把握することができた。</p> <p>子ども憲章10周年については、児童も参加してデザインを刷新した啓発カードを全市立小中学校の児童・生徒に配付するとともに、記念事業として実施し好評を得た移動動物園事業等でも広く配布を行った。また、憲法を記念する市民のつどい、中学生の意見発表会において中学生による子ども憲章の朗読を行うなど効果的な普及啓発に努めた。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行	30年度予算				30年度実績						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)									
		予算額	11,867千円				11,871千円						
		決算額					11,394千円						
		執行率(%)					96.0%						

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		子育て世代包括支援センター機能の充実による在宅子育て支援の推進										個別事業掲載No	子 — 2																									
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 子ども発達支援センター、総合保健センター及び子ども家庭支援センターが連携し、「子育て世代包括支援センター機能」を充実させ、「相談支援」「地域支援」「情報提供」の3つの柱を軸に、「ウエルカム ベビー プロジェクト みたか」として妊娠期から切れ目なく全ての子どもの育ちを支援する。地域開放事業を実施する保育園、多世代交流センター、子ども発達支援センター及び子ども家庭支援センター内の親子ひろばや子育て支援活動を行っているNPO法人等が連携し、在宅で子育てをする保護者同士の交流の場を提供するとともに、在宅の子どもと保護者に向けた支援プログラムの充実を図る。また、子育てサポーターの育成を行うなど、地域における子育て支援の人財育成に努め、協働型地域子育て環境の推進を図る。</p> <p>【事業量】 ・親子ひろば、各種育児講座(192回)、出前型ひろば(90回)等の円滑な実施 ・ひろば連絡会の開催(3回) ・子育てサポーター養成講座の開催 ・利用者支援事業担当者会議の開催(3回)</p>																																				
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	← 親子ひろば・保育園地域開放・出前型ひろば →																								
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 親子ひろば、各種育児講座及び出前型ひろば等の参加者数の増加 ウエルカム ベビー プロジェクト みたか展示イベントの実施(利用者支援事業実施7施設共同) 子育てサポーターの養成(年間8人) 																																				
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>子ども発達支援センター、総合保健センター、子ども家庭支援センター及び「子育てインフォメーション」等において、在宅子育て支援施設と親子ひろば・出前型ひろば・育児講座等の周知を図るとともに、ひろば事業連絡会では新しく開設した親子ひろばも加わり育児講座等の情報を共有した。参加者の増加につながる講座の内容の充実が課題となっている。利用者支援事業担当者連絡会においては、各施設の相談支援・地域支援・情報提供の共有と連携を密にする事で、相談と子育て支援コーディネーターとしての機能の強化を図っている。</p>																																				
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p> <p>乳児家庭全戸訪問事業については、民生・児童委員のその他の活動内容を整理した上で、謝礼額を検討すること。 新たな育児支援冊子の作成や、システム改修に係る経費については精査すること。</p>																																				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 市内の親子ひろばにおける各種育児講座(412回)、出前型ひろば(90回)を円滑に実施した。 市内のひろば事業担当者連絡会(3回)、利用者支援事業担当者会議(3回)を実施した。 子育てサポーター養成講座、みたかチルミル養成講座を実施した。 																																				
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	← 親子ひろば・保育園地域開放・出前型ひろば →																								
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 親子ひろば利用者数：すくすく48,932人、のびのび12,577人 計61,509人 平成29年度比△2,786人(子ども発達支援センター12,753人、東多世代交流センター3,663人、西多世代交流センター12,729人) 出前型親子ひろばの参加人数：2,510人 平成29年度比△556人 新たな取組として実施した「ウエルカムベビープロジェクトみたか」の展示イベントは7施設で計5,360人が参加した。 ファミリー・サポート・センター事業における子育てサポーター14人を養成し、スキルアップを図り地域における子育て人財の育成につながった。 																																				
	事業の総括(主管課)	<p>各地域における親子ひろば事業や育児支援講座等について、市民への周知に努めるとともに、事業や講座の内容も充実を図ったことで、前年度同様、多数の参加利用があった。</p> <p>また、子育てサポーターについては、目標を上回る14人を養成し、協働型地域子育て環境の推進にも努めた。</p> <p>各施設の連携の強化及び地域全体で子育てを支え合える取り組みとして市民参加型の「ウエルカムベビープロジェクトみたか」の展示イベントも開催することができた。今後も引き続き、地域全体ですべての子育て家庭を切れ目なく支える「子育て世代包括支援センター機能」の更なる充実を図り、在宅子育て家庭支援の推進に努める。</p>																																				
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">予算執行</th> <th colspan="3">30年度予算</th> <th colspan="3">30年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="2">136,771千円</td> <td>実績額</td> <td colspan="2">137,713千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td colspan="2"></td> <td>実績額</td> <td colspan="2">121,994千円</td> </tr> <tr> <td>執行率(%)</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">88.6%</td> </tr> </thead> </table>												予算執行	30年度予算			30年度実績			予算額	136,771千円		実績額	137,713千円		決算額			実績額	121,994千円		執行率(%)				88.6%		
予算執行	30年度予算			30年度実績																																		
	予算額	136,771千円		実績額	137,713千円																																	
	決算額			実績額	121,994千円																																	
執行率(%)				88.6%																																		
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)																																	

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	子ども発達支援センターにおける相談訓練事業等の充実	個別事業 掲載No	子 — 3
-----	---------------------------	--------------	-------

当初計画	【事業概要】 地域の中核的療育施設である子ども発達支援センターにおいて、総合保健センターの1歳6か月健診で発見された発達課題や育児支援等の必要な子どもとその保護者に対して、親子で行うグループ療育を実施し、療育・子育ての両側面を早い段階（年齢）から支援する。また、市内の保育園や幼稚園に在園している子どもを対象にした、保育所等訪問支援事業やくるみ幼児園への併用通園を実施し、地域で過ごす子どもの集団生活力の向上にむけた支援と、子どもと家族が地域の中でいきいきと安心して生活できるよう、家族支援と地域支援に取り組む。
	【事業量】 総合保健センターと連携した1歳6か月健診後グループ年間70回実施、保育所等訪問支援事業年間72回実施、併用通園年間20日実施、家族支援事業年間20回実施、地域支援セミナー（障がい理解のための家族、支援者及び市民向け専門研修）年間8回実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○親子グループの実施 _____> ○保育所等訪問支援事業の実施 _____> ○家族支援・地域支援セミナーの実施 _____> ○併用通園の実施 _____>
成果目標	1歳6か月健診後親子グループ延参加者560組、保育所等訪問支援事業延参加者数72人、併用通園延参加者数110人、家族支援事業延参加者数235人、地域支援セミナー（専門研修）延参加者数300人

中間評価	上半期の実績・課題等 健診後の親子グループは、10グループ、延27回実施。総合保健センターとの連携の下、子育て支援・療育の両視点で支援し、必要な子どもには丁寧に療育グループへつなぐことができた。また、保育所等訪問支援は、6人に対し延20回実施。在籍園での生活の充実に向けた支援が実施できている。家族支援・地域支援の事業は10回123人が参加している。
	事業評価 審査会 特記意見 政策会議 評価・意見等 療育支援に関する情報の一元的な管理、運用の検討にあたっては、個人情報保護の観点から、企画部・総務部と連携し、適切な手続きを進めること。
	主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	【事業量の実績】 総合保健センターと連携した1歳6か月健診後グループ年間72回実施、継続健診後グループ年間74回実施、保育所等訪問支援事業年間58回実施、併用通園年間22日実施、家族支援事業年間14回実施、地域支援セミナー（障がい理解のための家族、支援者及び市民向け専門研修）年間8回実施
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○親子グループの実施 _____> ○保育所等訪問支援事業の実施 _____> ○家族支援・地域支援セミナーの実施 _____> ○併用通園の実施 _____>
	成果目標の達成状況 1歳6か月健診後親子グループ延参加者401組、保育所等訪問支援事業延参加者数58人、併用通園延参加者数120人、家族支援事業延参加者数170人、地域支援セミナー（専門研修）延参加者数203人
	事業の総括（主管課） 1歳6か月健診後親子グループには401組が参加し、総合保健センターとの連携の下、子育て、療育の両視点から、より早期の段階で支援を実施した。さらに専門的な支援が必要な子どもに対しては、円滑に子ども発達支援センターの療育グループにつなぐことができた。今後も引き続き、早期発達支援システムの充実に努めていく。 保育所等訪問支援事業では、9人の子どもを対象に、子どもへの直接療育を行うだけでなく、子どもが所属する園への支援も行い、集団への適応に向けた支援ができた。対象園を公設公営保育園だけでなく、公私連携型保育園、私立幼稚園に広げ、より多くの方が利用できるようになった。家族支援事業、地域支援事業については、継続して充実を図る。
	事業評価 審査会 評価・意見等 予算執行 30年度予算 30年度実績 予算額 127,146千円 127,146千円 決算額 113,860千円 執行率(%) 89.6%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		多世代交流センターのリニューアルオープンに向けた取り組み											個別事業 掲載No	子 — 4		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 多世代交流センターにおける地域の多世代交流拠点としての機能を一層強化するため、施設のリニューアル工事を実施する。 平成31年度のリニューアルオープンに向け、世代間の交流や見守りが地域の中でさらに生まれる場となるよう、検討と準備を進める。また、リニューアル工事に伴う休館中についても、他の施設を利用しながら切れ目なく「学び」や「遊び」の場を提供し、リニューアルオープン後の運営につながるよう取り組む。</p> <p>【事業量】 ・事務所移転作業の円滑な実施 ・他の施設を利用した休館中の事業継続 ・施設改修に伴う規則の改正 ・市民説明会の開催等周知の徹底</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標	<p>○議案提出 ○改修工事（休館）</p> <p>○移転作業及び代替施設での事業継続</p> <p>○規則の改正</p> <p>○リニューアルオープンに向けた検討・準備</p> <p>○市民向け説明</p> <p>○開館準備</p>														
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>改修工事については、近隣住民等への周知を丁寧に行い、十分な理解を得た上で計画通り着手した。また、工事期間中も切れ目なく事業を実施するために、事務所移転作業を速やかに実施し、代替施設での事業実施に取り組んだ。今後も各施設と連携を取りながら事業実施を継続し、休館中の「学び」と「遊び」の場を市民に提供しながら、リニューアルオープンに向けた検討・準備を着実に進めていきたい。</p>														
	事業評価審査会特記意見												政策会議 評価・意見等			
	主管課評価	3	事業評価審査会評価											3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする	
事後評価	【事業量の実績】	<p>・事務所移転作業を円滑に実施した。 ・コミュニティ・センター等を利用して休館中の事業を継続した。 ・市民説明会を開催し周知徹底を図った。</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標の達成状況	<p>○休館中はコミュニティ・センター、地区公会堂、北野ハピネスセンター、市内大学等を利用して切れ目なく事業を継続した。 ○リニューアルオープンに向けて市民説明会を開催し、協働事業実施に向けた準備を進めた。</p>														
	事業の総括（主管課）	<p>改修工事については、近隣住民の要望も取り入れ、概ね計画どおり実施することができた。工事期間中は切れ目なく事業を実施するために、事務所移転作業を速やかに実施し、代替施設と連携を取りながら、休館中の「学び」と「遊び」の場を市民に提供した。その中で地域の新たなニーズを掘り起こすことができ、コミュニティ・センターでの移動児童館事業やなんじゃもんじゃの森の活用など、リニューアルオープン後の事業展開につながる成果があった。</p> <p>また、リニューアルオープンに向けた検討を進めた結果、部屋の貸出方法についての規則改正は行わず、市民が改修前と同様に利用できるようにした。</p> <p>さらに、「多世代交流パートナー制度」による新たな多世代交流事業を実施するために市民説明会を開催し、次年度からの実施に向けた準備に取り組んだ。</p> <p>今後は、リニューアルした施設を活用し、地域の誰もが利用でき、世代間交流が一層活性化するよう、各機能の更なる充実に努めていく。</p>														
事業評価審査会評価・意見等												予算執行	30年度予算	30年度実績		
主管課評価	S	事業評価審査会評価											1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）		

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		待機児童解消に向けた私立認可保育園の開設支援										個別事業 掲載No	子 — 5		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 待機児童の解消に向けて、国の「子育て安心プラン」に基づき、平成31年4月に開設する認可保育園（4園）の整備を支援する。開設に当たっては、国・東京都の補助金を活用する。</p> <p>【事業量】</p> <p>○（仮称）ココファン・ナーサリー三鷹 [所在地]上連雀一丁目 [定員]70人 ○（仮称）みたいぐコスモ保育園 [所在地]井ロー丁目 [定員]109人 ○（仮称）三鷹雲母保育園 [所在地]新川三丁目 [定員]60人 ○（仮称）ソラストみたか台保育園 [所在地]牟礼五丁目 [定員]73人</p>													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	} ○認可・申請	
		[3園] ○児福審 ○着工 (計画承認)										→	→		
成果目標	平成31年4月開園に向け、計画的な支援を実施する。														
中間評価	上半期の実績・課題等	予定した4園で開設に向けた取り組みを進めている。うち1園は近隣住民からの要望を受け、住民説明会を3回実施し丁寧な対応を行った。 東京都の計画承認申請が受理され、年末から年明けの竣工に向けて概ねスケジュールどおりに整備が進んでいる。													
	事業評価審査会特記意見											政策会議 評価・意見等	認可保育園の開設支援については、待機児童数の動向を注視し、引き続き保育の質を確保しながら必要に応じて整備計画の見直しを図ること。		
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする									
事後評価	【事業量の実績】	○ココファン・ナーサリー三鷹 [所在地]上連雀一丁目 [定員]70人 ○みたいぐコスモ保育園 [所在地]井ロー丁目 [定員]109人 ○三鷹新川雲母保育園 [所在地]新川三丁目 [定員]60人 ○ソラストみたか台保育園 [所在地]牟礼五丁目 [定員]73人													
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	} ○認可・申請	
		[3園] ○児福審 ○着工 (計画承認)										→	→		
	成果目標の達成状況	私立認可保育園の開設支援においては、事業者が建築・内装工事、保育従事職員の募集等を計画的に実施できるよう配慮した。国及び東京都の補助金を活用し準備を進め、拡充定員は、当初の計画どおり、312人となった。東京都の認可を正式に受け、平成31年4月に開園した。													
	事業の総括(主管課)	当初の計画どおり定員拡充を図ることができたが、保育士を始めとする保育従事職員の確保は年々難しくなっている。特に施設長候補者や主任保育士など、一定の経験が必要な人材の確保については、各事業者においても課題となっている。開設支援を行う法人の人材確保方策については、選定時より十分な確認が必要で、市においても整備期間を通して定期的な報告を求めるなど、適切な指導を行ってきた。 整備における近隣住民への説明については、事前に事業者と十分な打ち合わせを行い、各整備地域の特性に十分に配慮したうえで、丁寧に実施した。													
事業評価審査会評価・意見等											予算執行	30年度予算 30年度実績			
													予 算 額	649,346千円	586,500千円
													決 算 額		505,318千円
													執 行 率 (%)		86.2%
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他(取組方針の変更等)										

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		保育人財の確保・定着支援の拡充										個別事業 掲載No	子 — 6			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 [保育士等キャリアアップ補助事業] 東京都の補助金を活用して、保育士等のキャリアアップに取り組む保育施設に対する支援を引き続き実施する。 [保育従事職員宿舍借り上げ支援事業] 保育従事職員用宿舍の借り上げを行う運営事業者の支援について、認証保育所を対象施設に加えるなど、更なる保育人財の確保・定着を促進する。</p> <p>【事業量】 [保育士等キャリアアップ補助事業対象施設] 私立認可保育園、認定こども園、地域型保育施設、認証保育所、公設民営保育園 [保育従事職員宿舍借り上げ支援事業対象施設] 私立認可保育園、認定こども園、小規模保育施設、事業所内保育施設、認証保育所、公設民営保育園</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>[保育士等キャリアアップ補助事業] [保育従事職員宿舍借り上げ支援事業]</p> <p>○上半期申請・交付 下半期申請・交付○</p>		
	成果目標	保育人財の確保・定着の更なる促進														
中間評価	上半期の実績・課題等	保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、今年度より上半期（4月～9月）・下半期（10月～3月）の2期に分けて交付することとした。既に対象施設には案内を行っており、上半期の実績について、正確かつ迅速な交付ができるよう準備を進めている。														
	事業評価 審査会 特記意見							政策会議 評価・意見等	企業主導型保育施設への支援については、市との密な情報共有など保育の質の確保を担保するような取り組みを検討したうえで、事業費を精査すること。							
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										
事後評価	【事業量の実績】	<p>[保育士等キャリアアップ補助事業] 38園 234,710,000円 [保育従事職員宿舍借り上げ支援事業] 38園 123,587,000円</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	<p>[保育士等キャリアアップ補助事業] [保育従事職員宿舍借り上げ支援事業]</p> <p>○上半期申請・交付 下半期申請・交付○</p>		
	成果目標の達成状況	保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、当初の予定どおり、今年度より上半期（4月～9月）・下半期（10月～3月）の2期に分けて実施し、対象施設の経済的な負担軽減に寄与した。														
	事業の総括 (主管課)	<p>公定価格の処遇改善の加算項目に加え、東京都のキャリアアップ補助事業の活用など、処遇改善に向けた取り組みを積極的に実施した。同補助事業の対象外となっている公設民営保育園についても、私立保育園等の処遇改善との整合を図るため、市の単独補助により実施している。</p> <p>保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、対象施設に認証保育所を加え、継続して保育事業者の支援を行った。キャリアアップ補助事業とあわせ、市内の民間保育所に積極的な活用を呼び掛け、民間保育事業者の安定的な運営と保育の質の確保に資することができた。</p> <p>なお、保育従事職員宿舍借り上げ支援事業については、国の要綱改正により、平成30年度からの新規対象者分について、不交付団体の補助率が1/2から3/8に改正された。平成30年度は、市の減収分を東京都が負担することになったが、本制度は令和2(2020)年度までとされていることもあり、今後の国及び東京都の動向について、引き続き注視する必要がある。</p>														
	事業評価 審査会 評価・意見等							予算 執行	30年度予算		30年度実績					
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上		1 計画どおり	2 計画の7割未満		3 その他(取組方針の変更等)						
		予算額		412,141千円		決算額		358,297千円		執行率(%)		86.9%				

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	公費負担による保育施設の「おむつ処理」の実施をはじめとした保育サービスの充実	個別事業掲載No	子 — 7
-----	--	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 保育料の改定にあわせて、保育サービスの充実の一環として使用済みおむつの処理を公費負担で実施する。 また、認証保育所利用者を対象に実施している保育料の一部助成について、東京都の補助金を活用し、認可保育園の利用ができず一定の基準を満たした認可外保育施設を利用している保護者を対象に加え、利用者支援策の拡充を図る。</p> <p>【事業量】 <おむつ処理> 対象施設：私立認可保育園（25園）、認定こども園（1園）、地域型保育施設（9園）、公設民営保育園（4園）、公設公営保育園（9園）</p> <p><認可外利用者助成> 助成額：月額1万円 助成期間：令和元(2019)年度まで</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標	・多様な保育ニーズを踏まえた保育サービスの充実 ・認可外保育施設利用者の保護者負担の軽減											

中間評価	上半期の実績・課題等	使用済みおむつ処理については、当初の想定通り順調に進んでいるが、おむつの処理量は、児童の状況により増減するため、年度後半に向けて予算の執行状況に注意が必要である。 認可外利用者助成については、認証保育所以外の認可外保育施設についても、三鷹市ホームページで周知を行うと同時に、対象となる施設に案内を行っている。												
	事業評価審査会特記意見					政策会議 評価・意見等				ベビーシッター利用支援事業（東京都の制度）については、利用ニーズ等を的確に把握すること。				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	事業量の実績	<おむつ処理>私立認可保育園（25園）、認定こども園（1園）、地域型保育施設（9園）、公設民営保育園（4園）、公設公営保育園（9園）で実施 <認可外利用者助成> 助成額月額1万円で実施											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標の達成状況	おむつ処理については、対象となる48施設について実施した。保護者からの評価も高く、市が収集業者と委託契約を締結することにより実施しているため、各事業者及び市の事務負担も少なく事業を実施することができた。認可外利用者助成については、新たに助成対象となった認証保育所以外の認可外保育施設については、広報みたか、HP、対象施設への案内により周知を図り、11人（実人数）が対象となった。											
	事業の総括（主管課）	保育サービスの充実の一環として実施した公費負担によるおむつ処理については、保護者からの評価も高く、円滑な事業実施が図ることができた。また、保育現場で働く保育士からも、これまで行っていた持ち帰りのための仕分け作業がなくなり、負担軽減につながったとの声も多く、保育士の働き方改革にも資する施策となった。 認可外施設利用者助成については、待機児童対策の一環として、一定の要件を満たした認可外保育施設の利用者にも拡充して実施した。本事業は、東京都の補助制度を活用して実施しているが、東京都は幼児教育・保育の無償化に伴い同制度の再構築・多子世帯に対する新たな支援を盛り込むこととしているため、令和元(2019)年10月に向け、市の方針を検討する必要がある。											
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行	30年度予算				30年度実績				
主管課評価	S	事業評価審査会評価			S	予算額	125,718千円	126,292千円	決算額	121,457千円	執行率（%）	96.2%	
					S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	学童保育の拡充と地域子どもクラブ等を拠点とした子どもの居場所づくりの推進	個別事業掲載No	子 — 8
------------	--------------------------------------	-----------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 引き続き学童保育所29施設の安定した運営を行う。また、待機児童解消に向け、学童保育所・地域子どもクラブ・むらさき子どもひろば・多世代交流センターを含めた、子どもの総合的な居場所づくりの推進を図る。具体的には平成29年度に試行的に実施した、放課後帰宅することなく直接来館する「むらさき放課後・夏休みクラブ」を通年で実施するとともに、第二小、第三小、第四小、井口小では夏季休業中も地域子どもクラブを実施する。</p> <p>【事業量】 ・学童保育所29施設の安定した運営の検証 ・地域子どもクラブの夏季休業中のモデル実施 ・むらさき子どもひろばでの待機児童居場所づくりの実施</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>○夏季休業中のモデル実施（地域子どもクラブ） ○「むらさき放課後・夏休みクラブ」の実施（通年） ○子どもの総合的な居場所づくり（通年）</p>											
成果目標	・学童保育所の安定した運営 ・むらさき子どもひろば、多世代交流センター、地域子どもクラブ事業による総合的な子どもの居場所づくり ・「むらさき放課後・夏休みクラブ」の通年実施												

中間評価	次年度の取り組みの方向性等	下連雀五丁目計画における日本無線株式会社跡地A地区に建設中の共同住宅内に開設予定の学童保育所について、開発業者と連携しながら、開設に向けた準備（設計・工事・指定管理者選定）を進める。待機児童対策としては、「むらさき放課後・夏休みクラブ」を通年実施するとともに、地域子どもクラブにおける校庭開放・教室開放等の取り組みの拡充も検討し、総合的な居場所づくりを進める。										
	事業評価審査会特記意見		政策会議評価・意見等	学童保育所の開設にあたっては、整備の考え方、経費負担のバランス等について早急に再調整すること。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	<p>【事業量の実績】 ・学童保育所29施設を安定して運営を行った。 ・地域子どもクラブの夏季休業中のモデル実施を行った。 ・むらさき子どもひろばでの待機児童居場所づくりを実施した。</p>												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>○夏季休業中のモデル実施（地域子どもクラブ） ○「むらさき放課後・夏休みクラブ」の実施（通年） ○子どもの総合的な居場所づくり（通年）</p>											
	成果目標の達成状況	学童保育所の安定的な運営を行うとともに、放課後、長期休業期間の子どもの居場所づくりとして、むらさき子どもひろばにおいて「むらさき放課後・夏休みクラブ」を実施した。また、地域子どもクラブは四校で夏季休業中のモデル実施を行った。日本無線跡地A地区に開設予定の下連雀五丁目学童保育所（仮称）については令和2（2020）年4月の開所を目指し、設計に着手した。											
	事業の総括（主管課）	学童保育所の安定した運営を行うとともに、弾力的な運用定員の拡充を図った。また、むらさき子どもひろばにおいて、「むらさき放課後・夏休みクラブ」を実施し、児童の放課後、長期休業期間中の居場所づくりを推進した。地域子どもクラブについては夏季休業中におけるモデル実施を四校（第二小、第三小、第四小、井口小）で行った。下連雀五丁目学童保育所（仮称）については設計に着手した。今後開発事業者と連携し、令和2（2020）年4月の開所に向けて、準備を進めていく。											
事業評価審査会評価・意見等	学校の夏季休業中における地域子どもクラブのモデル実施については、将来的なニーズ予測や、事業成果の把握に努めること。			予算執行	30年度予算		30年度実績						
				予算額	681,864千円		683,975千円						
				決算額			651,536千円						
				執行率（%）			95.3%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		児童扶養手当の制度改正等を踏まえたひとり親家庭への支援の充実										個別事業掲載No		子 — 9																									
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>ひとり親家庭等に支給している児童扶養手当について、国の制度改正に伴い平成30年8月分（12月支給）から全部支給に係る所得制限限度額を引き上げる。また、物価スライドによる手当額の改定（平成30年4月分から）や未婚のひとり親に対する寡婦（夫）控除のみなし適用、公共用地取得に伴う土地代金等の控除（平成30年8月分から）の政令改正については、市民周知を図りながら適切に対応していく。さらに、令和元（2019）年8月分からの定例支給回数の変更に係る制度改正への準備を確実に進める。</p> <p>経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭への支援にあたっては、経済的支援、子育て・生活支援、養育費の確保支援など各家庭のニーズに合った総合的な支援を、引き続き庁内関係機関連携のもと確実に実施していく。</p> <p>【事業量】</p> <p>①自立支援（自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金等、自立支援プログラム策定制度等の活用）②経済的支援（児童扶養手当の支給、福祉資金貸付）③日常生活・教育支援（ひとり親家庭ホームヘルプサービス、離婚時の養育費負担協議の啓発等）④児童扶養手当現況届集中受付期間の特別窓口開設と就労支援機関と連携した就労相談の実施</p>																																					
	スケジュール	<p>4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>・福祉資金管理・相談システムを活用した支援の充実と家庭訪問、同行支援など寄り添い型の相談体制の継続 →</p> <p>・児童扶養手当の適切かつ確実な支給 ○現況届（土・日特別窓口開設、就労相談併設） →</p> <p>・定例支給 ・定例支給 ・定例支給</p>																																					
	成果目標	<p>・児童扶養手当現況届集中受付700件（対象世帯の約70%）</p> <p>・母子・父子自立支援員による相談者に寄り添った相談支援体制の実施</p>																																					
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>児童扶養手当額改定等について、市ホームページや広報、郵送等で適切に市民周知を図った。8月の現況受付期間では、1週目の土・日曜日に特別窓口を開設し対象者の利便性向上を図り、開始から5日間で328件（対象世帯の約30%）の申請を受付けた。同時に実施した就労相談は5件、母子父子自立支援員相談は8件の実績があり、ニーズにあった丁寧な支援を行うことができた。8月末時点では、目標を上回る849件（対象世帯の約86%）の現況申請を受付けた。</p>																																					
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>																																					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																	
事後評価	【事業量の実績】	<p>自立支援教育訓練給付1件/高等職業訓練促進給付金8件/母子・父子自立支援プログラム策定30件/母子・父子福祉資金貸付61件/ひとり親家庭ホームヘルプサービス61件/教育費等協議啓発183件（配布数）/児童扶養手当現況届集中受付件数月間849件（全体の約87%）・同集中受付期間中の就労相談5件、自立支援員相談8件</p>																																					
	スケジュール	<p>4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月</p> <p>・福祉資金管理・相談システムを活用した支援の充実と家庭訪問、同行支援など寄り添い型の相談体制の継続 →</p> <p>・児童扶養手当の適切かつ確実な支給 ○現況届（土・日特別窓口開設、就労相談併設） →</p> <p>・定例支給 ・定例支給 ・定例支給</p>																																					
	成果目標の達成状況	<p>制度改正等に伴う変更事項について、額改定や現況通知などによる周知とともに、現況届の対面受付において一人ひとりに丁寧に説明をすることで確実な市民周知を行うことができた。全部支給所得制限限度額の引き上げでは、100世帯が一部支給から全部支給に、7世帯が支給停止から全部支給対象となる拡充の実績があった。また、国家資格取得に向け専門学校等の修業期間における生活の負担軽減に係る高等職業訓練促進給付金事業では、当初予算を上回る申請・実績があり、ひとり親家庭の自立支援につながった。</p>																																					
	事業の総括（主管課）	<p>ひとり親家庭の状況をしっかり把握するため対面で実施する児童扶養手当の現況届集中受付では、8月中に全体の約87%にあたる849件を受付け、目標を上回ることができた。</p> <p>健康福祉部、教育委員会をはじめ、庁内関係機関連携が一層進み、相談者のニーズにあった支援メニューを組み合わせ重層的な支援が実施できてきた。</p> <p>経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭に対しては、子どもの貧困対策の視点からも保護者と子どもの双方に対する支援が不可欠であることを踏まえ、子ども家庭支援ネットワークや福祉資金管理・相談システムを活用した相談体制の強化に取り組んでいく。</p>																																					
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td colspan="3">30年度予算</td> <td colspan="3">30年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td colspan="2">418,873千円</td> <td>実績額</td> <td colspan="2">420,401千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td colspan="2"></td> <td>実績額</td> <td colspan="2">395,264千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td colspan="2"></td> <td>実績率（%）</td> <td colspan="2">94.0%</td> </tr> </table>														予算執行	30年度予算			30年度実績			予算額	418,873千円		実績額	420,401千円		決算額			実績額	395,264千円		執行率（%）			実績率（%）	94.0%	
予算執行	30年度予算			30年度実績																																			
	予算額	418,873千円		実績額	420,401千円																																		
	決算額			実績額	395,264千円																																		
	執行率（%）			実績率（%）	94.0%																																		
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																		

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		児童虐待に対する組織的対応力の強化										個別事業 掲載No	子 — 10	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 近年の相談・通告件数の増加と相談内容の多様化に適切に対処するため、子ども家庭支援センターが、各ネットワーク機関と連携し、多角的に情報を収集するなどして、子どもとその家庭に対して迅速な対応を実施する。対応にあたっては、保育園や学童保育所、教育委員会をはじめとする庁内及び関係機関との連携をさらに強化し、確実な進行管理を図るとともに、子ども家庭支援ネットワーク運営委員会を充実させ、児童虐待の発生予防と子どもとその家庭に向けた組織的対応力の向上を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センター職員及び関係機関職員等のスキル向上のための研修を7回実施する。 関係機関との情報交換等のため、個別ケース会議を必要に応じて行う。 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○子ども家庭支援ネットワーク会議 ○代表者会議 運営会議/実務担当者会議（年6回） ネットワーク研修○ ○個別ケース会議（随時） ○関係機関への情報提供												
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センター職員及び関係機関職員とのスキル向上研修延参加者数80人。 早期発見及び組織的な早期からの対応による相談の充実と虐待の未然予防。 												
中間評価	上半期の実績・課題等	子ども家庭支援センター新任職員が研修参加し、資格取得とスキル向上を進めた。子ども家庭支援ネットワーク会議を定例実施、三鷹市内の児童虐待の状況と今年度の重点方針を共有した。連携強化の為、関係機関の会議や職員勉強会等において要保護児童地域対策協議会の説明を行い、地域における児童虐待の早期発見からの対応を確認した。市民等に向けた虐待予防の取り組みについては、下半期に向け重点的に取り組む。												
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等												
	主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センター職員及び関係機関職員等のスキル向上のための研修を3回実施した。 関係機関との情報交換等のため、個別ケース会議を随時行った。 												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		○子ども家庭支援ネットワーク会議 ○代表者会議 運営会議/実務担当者会議（年6回） ネットワーク研修○ ○個別ケース会議（随時） ○関係機関への情報提供												
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援センター職員及び関係機関職員とのスキル向上研修延参加者数83人。 早期発見及び組織的な早期からの対応による相談の充実と虐待の未然予防。 												
	事業の総括（主管課）	子ども家庭支援センター新任職員が研修参加し、資格取得とスキル向上を進めた。子ども家庭支援ネットワーク会議を代表者会議1回、運営、実務担当者会議各6回実施することで、三鷹市内の児童虐待の状況と適切な支援に向けた情報の共有を行った。連携強化の為、関係機関の会議や職員勉強会等において要保護児童地域対策協議会の説明を行い、地域における児童虐待の早期発見からの対応を確認した。 センター職員と関係機関職員とのスキル向上研修を3回実施し、延83人が参加した。 市民等に向けた虐待予防の取り組みについては、11月の「児童虐待防止推進月間」に合わせて三鷹駅頭でのキャンペーンの実施により啓発グッズ500セットを配付し周知に努めた。さらに、市民、関係機関職員向けの講演会を開催し82人が参加した。小学1年生と中学1年生にSOSカードを配付することで、虐待の未然予防に努めた。												
事業評価審査会評価・意見等			予算執行	30年度予算				30年度実績						
				予算額	30,560千円				11,541千円					
			決算額					11,172千円						
			執行率（%）					96.8%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									